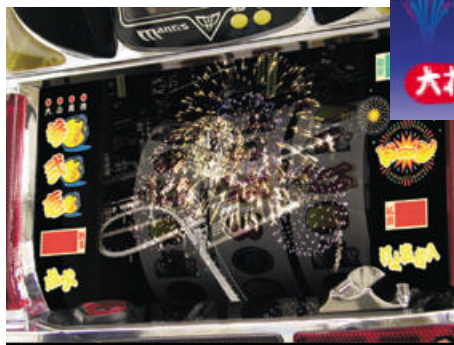

2003年3月期中間決算説明会



2002年11月

JQ :6425 アルゼ株式会社

【目次】

【 】	2003年 3月期中間決算概況	-	-	-	1
【 】	開発の概況	-	-	-	6
【 】	営業の概況	-	-	-	8
【 】	循環型経営統合管理システム (SISP5) の概要	-	-	-	11
【 】	特許権の取得・活用概況	-	-	-	12
【 】	海外事業の概況	-	-	-	14
【 】	アトアーズ株式会社の2003年 3月期中間決算概況	-	-	-	16
【 】	株式会社セタの2003年 3月期中間決算概況	-	-	-	18

【参考】 会社概要 アルゼの将来像

【 】 2003年3月期中間決算概況

(1) 連結損益計算書

[百万円]

科目	金額	前年同期比	主な増減要因
売上高	61,864	130.8%	パチスロ(+4万台)・パチンコ(+1.4万台)の販売台数増加
売上原価	28,102	122.3%	
売上総利益	33,761	138.8%	
販売費及び一般管理費	13,387	95.6%	広告宣伝費(16億円)他の抑制
営業利益	20,374	197.4%	
営業外収益	512	93.4%	
営業外費用	1,567	142.5%	ARUZE USA為替差(9億円)他
経常利益	19,318	197.7%	
特別利益	185	250.0%	投資有価証券等の売却益・評価益(1億円)増他
特別損失	1,680	118.1%	過年度分特許料(3億円)他
当期純利益	8,216	243.7%	
パチスロ販売台数[台]	132,422	144.2%	パチスロ3.2万台、ミオンゴッド6.9万台、ライオン1.2万台、ゴースト1万台
パチンコ・パチコン販売台数[台]	17,433	517.4%	ドラゴンチャンス7千台、ハンターチャンス8千台
売上高経常利益率[%]	31.3%	-	前年同期実績は20.7%
EPS[円]	102.57	-	前年同期実績は42.08円
ROE[%]	6.2%	-	前年同期実績は2.8%
ROA[%]	9.7%	-	前年同期実績は5.4%
研究開発費	3,049	134.3%	一般管理費及び製造原価に含まれる研究開発費
設備投資額	4,080	113.4%	アルゼ13億円(+3億円)、アドアーズ28億円(+2億円)他
減価償却費	2,300	85.4%	

(2) 連結セグメント別 売上高・営業利益

[百万円]

		売上高		計	営業費用	営業利益
		外部	内部			
パチスロ パチコン パチンコ	パチスロ	45,927 (133.6%)	0 (-%)	45,927 (132.9%)	23,528 (123.1%)	22,399 (145.1%)
	パチコン パチンコ	3,382 (521.1%)	0 (-%)	3,382 (521.1%)	2,677 (515.8%)	705 (542.3%)
	その他	1,447 (-%)	0 (-%)	1,447 (-%)	1,156 (-%)	291 (-%)
	計	50,756 (145.0%)	0 (-%)	50,756 (144.2%)	27,361 (139.4%)	23,395 (150.2%)
不動産		271 (107.1%)	86 (83.5%)	357 (100.0%)	163 (93.7%)	194 (106.0%)
AM施設運営		8,493 (97.9%)	7 (33.3%)	8,500 (97.8%)	6,316 (91.2%)	2,184 (123.7%)
ゲーム機器		1,742 (80.9%)	425 (379.5%)	2,168 (95.8%)	2,350 (81.0%)	182 (-%)
その他		599 (49.4%)	10 (5.3%)	609 (43.5%)	1,236 (50.7%)	626 (-%)
計		61,864 (130.8%)	529 (86.4%)	62,393 (130.2%)	37,429 (116.7%)	24,964 (157.5%)
消去又は全社		- (-%)	529 (-%)	529 (-%)	4,060 (82.7%)	4,590 (-%)
連結		61,864 (130.8%)	- (-%)	61,864 (130.8%)	41,489 (112.2%)	20,374 (197.4%)

括弧内 ()は前年同期比

(3) 会社別損益計算書

[百万円]

	売上高	売上総利益	営業利益	経常利益	当期純利益
アルゼ	52,604 (140.7%)	27,920 (127.6%)	18,040 (174.2%)	19,314 (171.4%)	9,679 (162.7%)
アドアーズ	10,417 (90.6%)	3,093 (123.3%)	1,628 (218.5%)	1,587 (260.2%)	845 (335.3%)
セタ	649 (245.8%)	357 (728.6%)	134 (- %)	135 (- %)	26 (- %)
ミズホ	1,853 (23,162.5%)	1,165 (- %)	850 (- %)	863 (- %)	446 (- %)
メーシー販売	331 (49.0%)	184 (37.5%)	51 (14.8%)	124 (31.4%)	72 (31.3%)
エレコ	853 (406.2%)	562 (323.0%)	424 (510.8%)	424 (510.8%)	227 (472.9%)
システムスタッフ	357 (100.0%)	326 (100.0%)	192 (104.9%)	65 (120.4%)	62 (- %)
日本AM放送	554 (263.8%)	175 (- %)	31 (- %)	23 (- %)	24 (- %)
サクノス	0 (- %)	0 (- %)	37 (- %)	37 (- %)	37 (- %)
ARUZE USA	0 (- %)	0 (- %)	5 (- %)	899 (- %)	899 (- %)
ワイズテック	1,238 (- %)	107 (- %)	65 (- %)	78 (- %)	46 (- %)
ACT	1 (- %)	1 (- %)	104 (- %)	105 (- %)	105 (- %)
その他	0 (- %)	124 (- %)	123 (- %)	127 (- %)	124 (- %)
総合計	68,863 (134.3%)	34,018 (131.5%)	21,398 (189.4%)	21,763 (188.0%)	10,389 (195.5%)
内部取引等調整額	7,000 (- %)	257 (- %)	1,024 (- %)	2,445 (- %)	2,174 (- %)
連結合計	61,864 (130.8%)	33,761 (138.8%)	20,374 (197.4%)	19,318 (197.7%)	8,216 (243.7%)

括弧内 ()は前年同期比

(4) 連結貸借対照表

1) 資産

[百万円]

科目	金額	前年同期比	主な増減要因
流動資産	100,126	121.4%	現預金175億円増、売掛債権59億円増他
固定資産	99,599	99.7%	
有形固定資産	39,555	98.3%	新規取得39億円、除却・減価償却58億円他
無形固定資産	3,387	78.4%	新規取得1億円、減価償却・連結調整10億円他
投資その他の資産	56,656	102.4%	
資産合計	199,726	109.5%	

2) 負債・資本

[百万円]

科目	金額	前年同期比	主な増減要因
流動負債	45,745	141.5%	短期借入金94億円、未払法人税45億円他
固定負債	17,030	73.8%	長期借入金60億円他
少数株主持分	5,447	106.6%	
資本	131,502	107.9%	利益剰余金120億円他
負債、少数株主持分 及び資本合計	199,726	109.5%	

(5) 通期業績の見通し

[百万円]

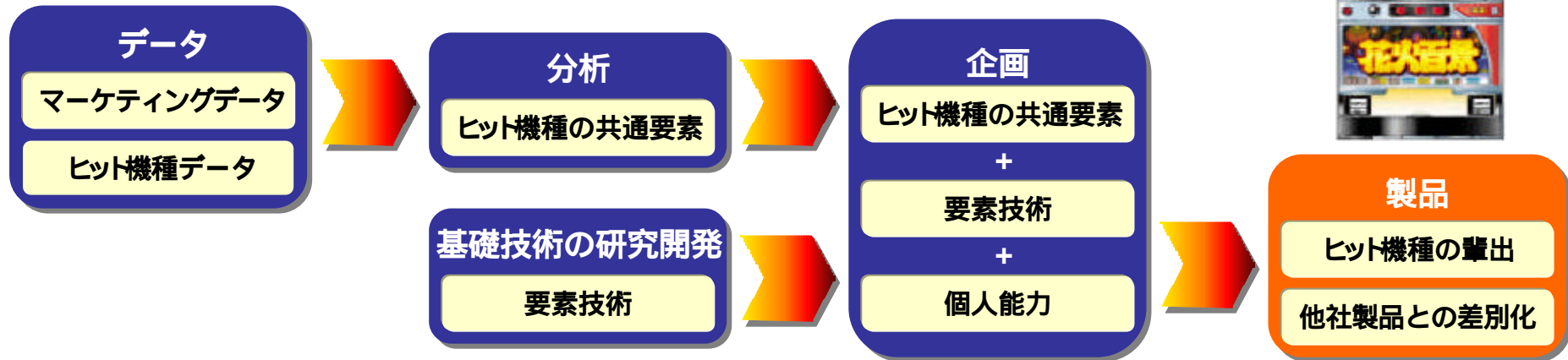
連 結	上半期	3Q(予)	4Q(予)	下半期(予)	通期(予)
売上高	61,864	28,300	57,400	85,700	147,500
営業利益	20,374	6,500	16,500	23,000	43,300
経常利益	19,318	6,100	15,700	21,800	41,100
当期純利益	8,216	2,800	7,400	10,200	18,400
EPS[円]	102.57	34.95	92.38	127.33	229.70

単 独	上半期	3Q(予)	4Q(予)	下半期(予)	通期(予)	
売上高	パチスロ	45,922	15,200	38,500	53,700	99,600
	パチンコ・パチコン	3,382	12,800	6,300	19,100	22,500
	ゲーム機器	1,685	700	300	1,000	2,700
	その他	1,615	800	600	1,400	3,000
計	52,604	29,500	45,700	75,200	127,800	
営業利益	18,040	6,500	15,900	22,400	40,400	
経常利益	19,314	6,400	15,700	22,100	41,400	
当期純利益	9,679	3,500	8,400	11,900	21,500	
EPS[円]	120.83	43.69	104.86	148.56	268.40	
販売台数 [台]	パチスロ	132,422	45,000	115,000	160,000	290,000
	パチンコ・パチコン	17,549	67,000	33,000	100,000	110,000

【 】 開発の概況

(1) 現行の開発体制と効果

>>> データに基づく組織的企画体制の確立 <<<



(2) 開発のコストダウンとスピードアップ

機械開発における「液晶画面の大型化」・映像クオリティーの向上」により予想される「開発コストの上昇」・「開発期間の長期化」への対策が急務。

新筐体の開発 コストダウン
各種開発ツール類の拡充 開発期間の短縮
遊技機専用チップの開発・バージョンアップ
コストダウン + 開発期間の短縮 + 映像クオリティーの向上



(3) パチスロ・パチンコの申請状況

業界全体の型式試験状況		4月	5月	6月	7月	8月	9月	計
パチスロ	適合	26	31	24	27	23	20	151
	不適合	3	3	9	15	10	3	43
	みなし不適合	0	0	0	1	2	1	4
パチンコ	適合	39	36	50	21	40	38	224
	不適合	3	3	4	8	3	0	21
	みなし不適合	0	0	0	0	0	0	0

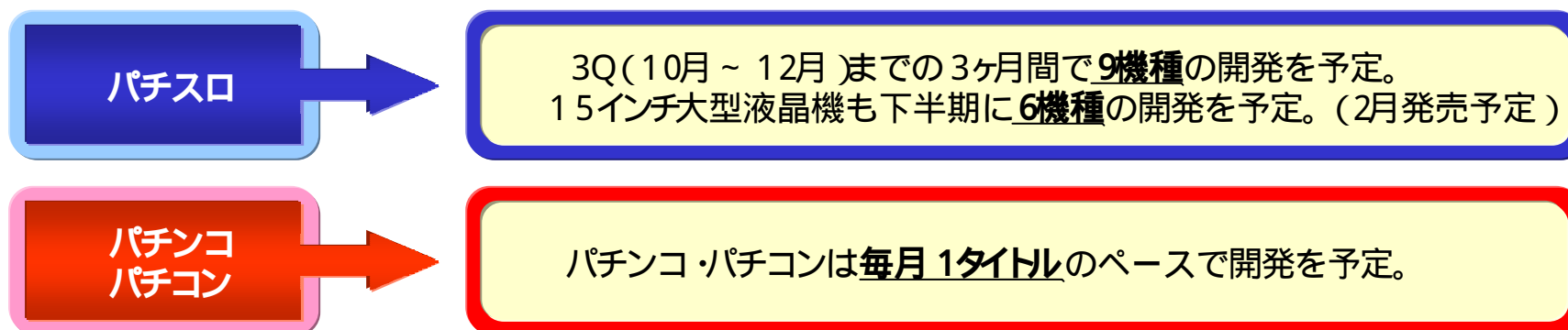
ストック機の仕様について警察庁より「一定確率でのストックの払出しは認める」との明確な回答が得られた。

当社は明確化された仕様に沿って、型式試験の再申請中。

AT機の仕様は曖昧な点が多く、型式試験において認められない可能性が高い。

市場の主流はAT機からストック機へ変化することが予想される。

(4) 下半期のパチスロ機・パチンコ機の開発見込み



【 】 営業の概況

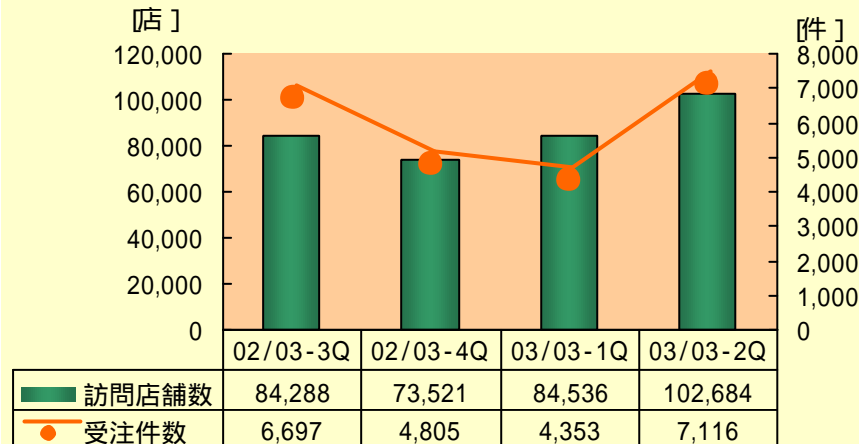
(1) 営業体制変更と成果

< 体制変更の概要 >

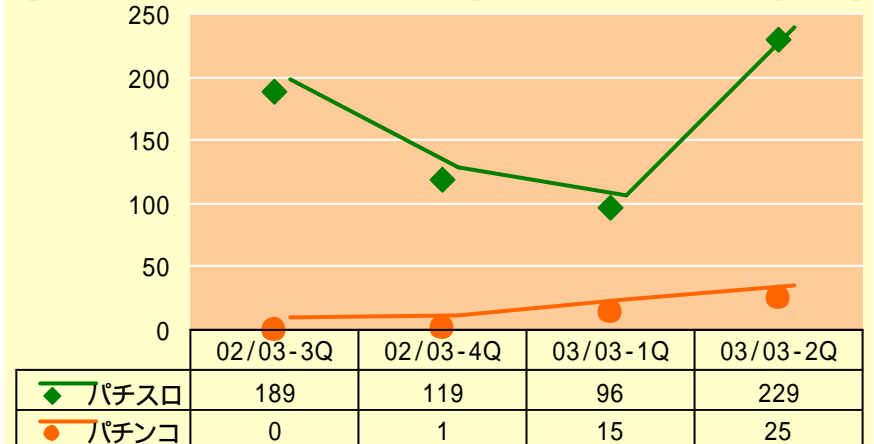


< 体制変更の成果 実績 >

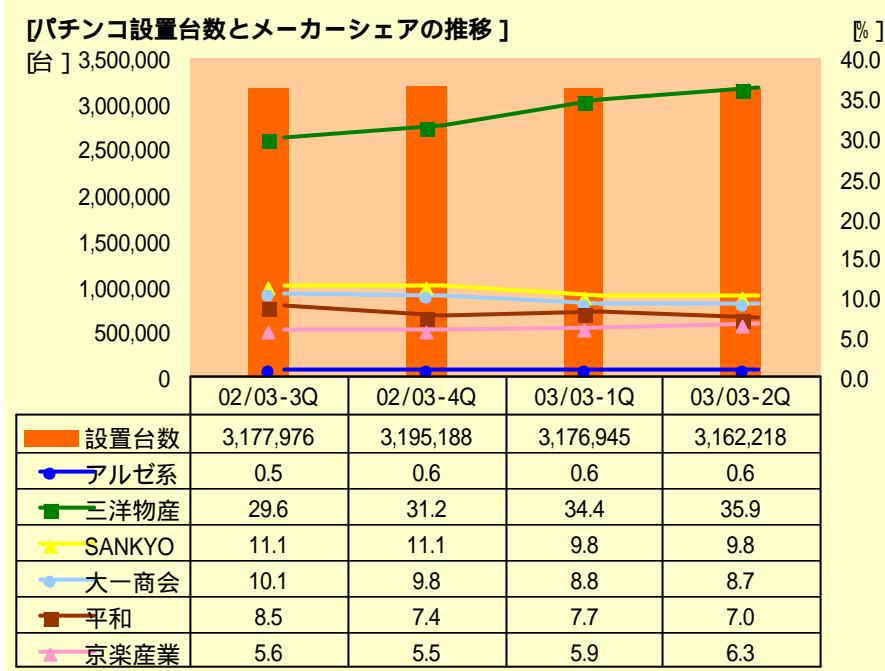
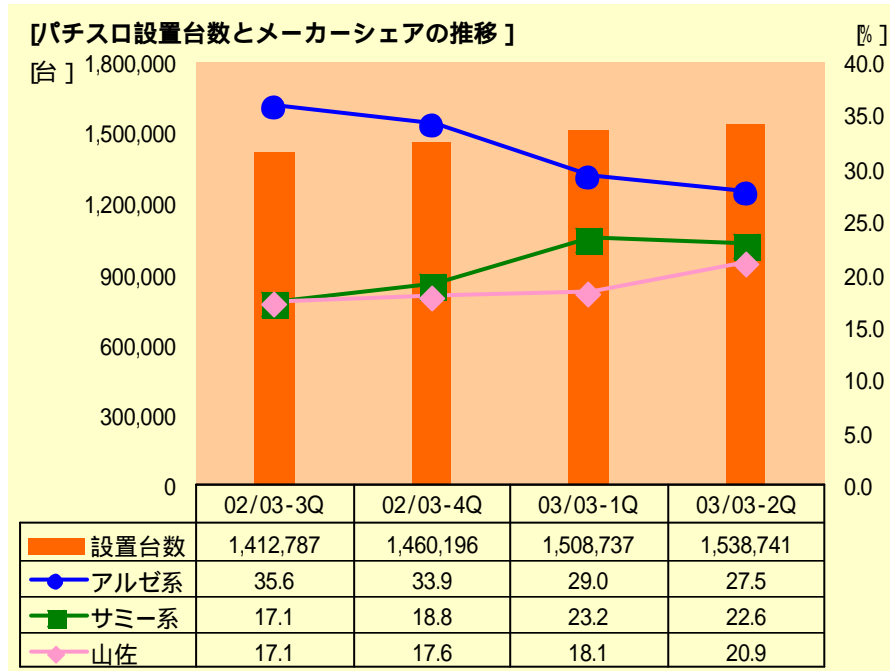
【訪問店舗数と受注件数の推移】



【直販営業1人当りの四半期販売台数】



(2) パチスロ・パチンコ業界の現状と見通し



【パチスロ】

設置台数の50%はゲーム性を重視したAT機ではないスタンダードタイプ。
 パチスロ機の主流はギャンブル性重視からゲーム性重視へ移行しつつある。
設置台数の50%を占めるゲーム性重視のスタンダードタイプ市場がターゲット。

【パチンコ】

新内規対応パチンコ機の需要は高く、入替が進んでいる。(40~50万台入替済)
当社にとっては、パチンコ設置シェアを拡大する絶好の機会。

(3) 下半期の販売戦略

顧客の設置機種によりアプローチパターンを選択、顧客・1万店舗へ営業展開

	販売機種	3Q			4Q		
		10月	11月	12月	1月	2月	3月
アプローチ	ハンターチャンス (パチンコ)		→				
	アステカレジェンド (パチスロ)			→			
	釣りっ娘るあちゃん (パチコン)			→			
	15インチ液晶機・花火百景 (パチスロ)				→	→	→
	7インチ液晶パチンコ				→	→	→
アプローチ	ハンターチャンス (パチンコ)	→					
	釣りっ娘るあちゃん (パチコン)		→				
	アステカレジェンド (パチスロ)			→			
	7インチ液晶パチンコ				→	→	→
	15インチ液晶機・花火百景 (パチスロ)				→	→	→
販売台数	パチスロ	45,000台			115,000台		
	パチンコ	67,000台			33,000台		

[3Q] パチンコの実績づくり

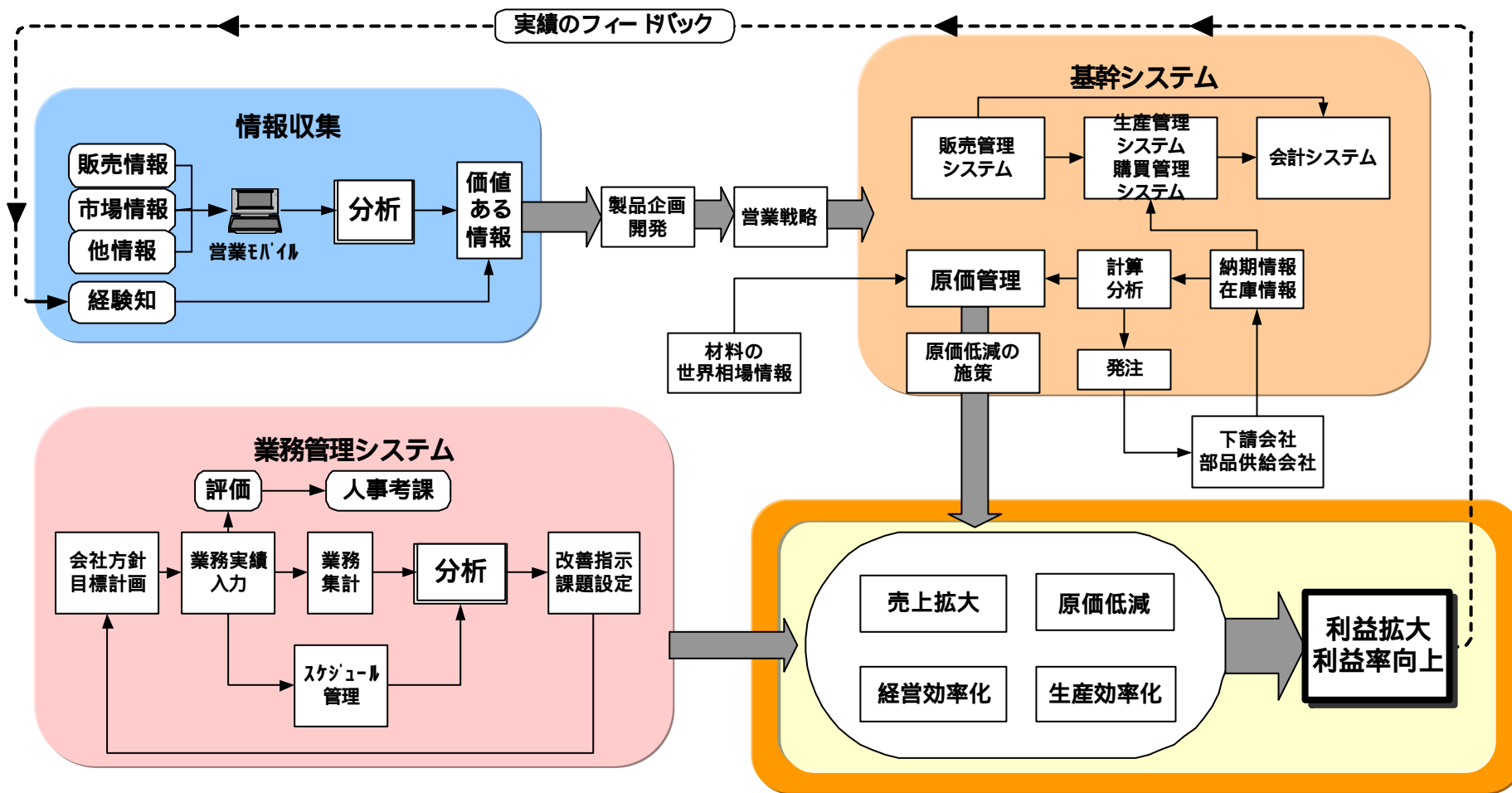
パチンコ機のクオリティーは業界トップクラス
新内規対応パチンコ機の販売に注力。
店舗・プレイヤーにクオリティーを実感してもらう
ことが重要。

[4Q] パチスロ設置シェアの奪還

15インチ液晶搭載パチスロ機「花火百景」の発売
パチスロ機の販売に注力。
1月より受注開始、2月下旬より納品開始予定。

【 】 循環型経営統合管理システム (SISP5)の概要

< 循環型経営統合管理システム (SISP 5) の概念図 >



重要な経営資源である「情報」と「実績」を循環させ、
収益性・効率性の向上を図る仕組みを2003年3月期中に構築

【 】 特許権の取得・活用概況

(1) 特許出願件数

出願方針

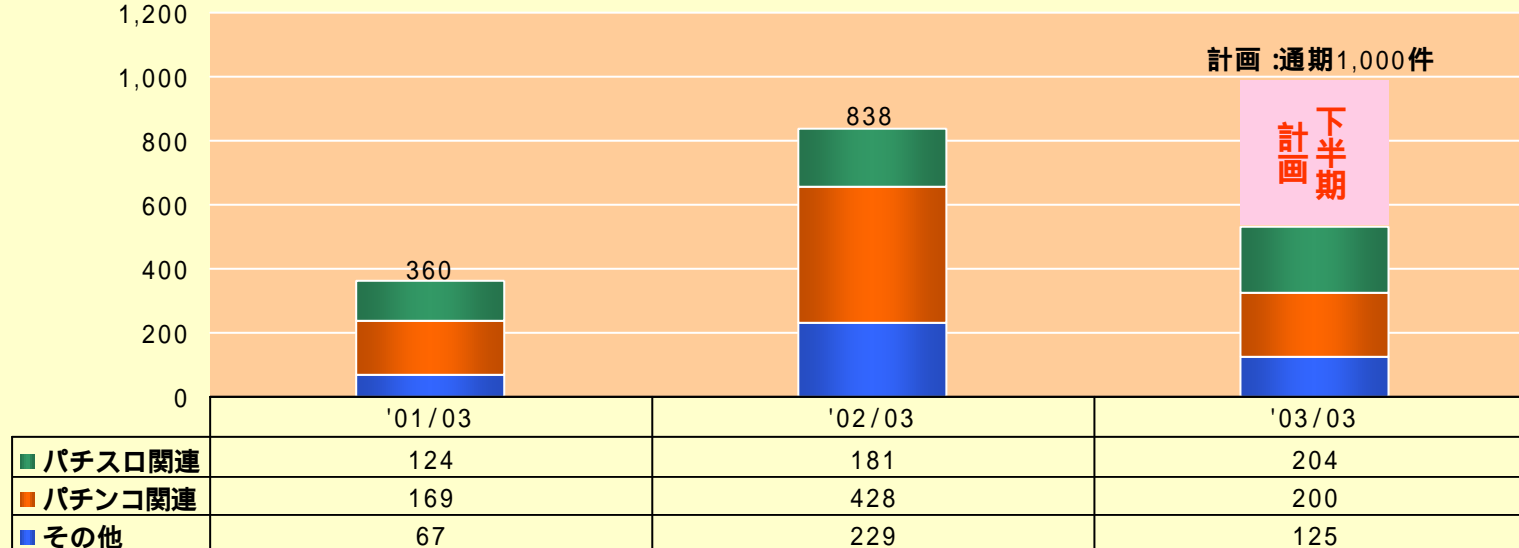
製品の付加価値向上 (特許取得による製品付加価値の向上)
 他社製品との差別化
 将来の製品開発へ結びつく特許出願

年間計画 1,000件 に対し、上半期の特許出願件数は 529件。進捗率 52.9% を達成。

特許出願件数は前年同期比 150%。平成 14年 3月期上半期実績 : 352件。

[特許出願数の推移]

[件]



03/03は上半期 (4月～9月) の実績。

(2) 特許権の有効活用について

1. 自社活用率の向上

出願または権利化された特許権の技術を実機に搭載。
特許権の自社活用率を約30%へ上げる。

出願または権利化された特許権の技術を業界標準技術へと育成し、製品・特許権の付加価値を創造。(業界でのアドバンテージ)

2. ライセンス

保有特許権は2003年9月末時点で162件(内パチスロ77件、パチンコ59件)、
パチスロのライセンスは、各メーカーへ交渉中。

パチスロ業界へ進出しているパチンコメーカーを中心に交渉を進める予定。
ライセンス契約に応じないメーカーには、訴訟にて対応する方針。

(3) 特許訴訟の状況について


係争中の特許訴訟

CT(チャレンジタイム)機の特許権・・・3社を提訴
東京地裁の判決にて勝訴したサミーとの訴訟では、特許庁より無効理由通知書が
送達されていますが、特許権の構成を明確にする訂正と意見書を提出しています。
現在、特許庁の審理継続中。

フラグ持ち越し機能の特許権・・・2社を提訴(地裁審理中)
前段判定の特許権・・・1社を提訴(高裁審理中)

【 】 海外事業の概況

(1) Wynn Resorts Limited.のNASDAQ上場の概要

シンボル	WYNN	約4.5億米ドルを調達。 Wynn Resorts社の発行済株式総数は74,615,000株 ()と なる。 40,000,000株+34,615,000株 (2002/10末現在)。 
上場取引所	NASDAQ	
登録年月日	10月25日	
発行価額	13.00米ドル	
発行新株式数	34,615,000株	

(2) ARUZE USA, Inc.の出資 投資の状況 (2002/10末現在)

年/月	事象	金額	持株比率	補足
2000/10	出資	26,000万米ドル	Valvino社 持株比率 :48.1%	S.Wynn氏が同額出資。
2002/4	出資	12,000万米ドル	Valvino社 持株比率 :47.5%	S.Wynn氏が同額他、Baron氏が出資。
2002/6	-	-	Valvino社 持株比率 :47.4%	K.Wynn氏が出資。
2002/9	現物出資	-	Wynn Resorts社 持株比率 :47.4%	Valvino社の全保有株式を現物出資。
2002/10	-	-	Wynn Resorts社 持株比率 25.4%	Wynn Resorts社がNASDAQ上場、新株34,615千株を発行。
	出資	7,250万米ドル	Wynn Resorts社 持株比率 :32.9%	発行新株34,615千株のうち、5,576,923株を取得。
	社債投資	250万米ドル	-	償還期日 2010年11月 発行価額 92.793、クーポンレート :12.00%
合計	出資	45,250万米ドル	Wynn Resorts社 持株比率 32.9%	保有株式数 24,549,222株
	社債投資	250万米ドル	-	発行総額3,700万米ドルの6.8%。

11/13に株式上場幹事会社が更に約320万株 (約3,900万米ドル) を引受けた為、ARUZE USAの持株比率は31.5%となりました。

(3) 海外カジノプロジェクトの概要 (2002/10末現在)

[単位 :百万米ドル]

資金使途		金額	資金調達		金額
プロジェクト	内訳		調達方法	引受先	
ラスベガス 「ル・レーブ」総工費		1,725.7	Valvino Lamoreの資産現物出資分		586.1
	建築費	919.3	新株発行		450.0
	土地	318.5		ARUZE USA	72.5
	施設設備等	303.0		S.Wynn	72.5
	設計・デザイン費	67.4		その他	305.0
	ゴルフ場 駐車場	33.0	社債発行		343.3
	その他	84.5		ARUZE USA	2.5
マカオ カジノプロジェクト準備		63.8		S.Wynn	2.5
	既投資額 (銀行預金)	23.8		その他	338.3
	投資準備金	40.0	銀行借入		1,157.0
全社経費 (利子 手数料等) 他		766.6	その他収入		29.7
計		2,566.1	計		2,566.1

上記の表には、11/13に株式上場幹事会社が引受けた約320万株 (約3,900万米ドル)は含まれていません。

プロジェクト遂行に必要な資金調達は完了。

ラスベガス 「ル・レーブ」プロジェクトは、2005年4月にホテル&カジノの営業開始予定。

【 】 アトアーズ株式会社 (JQ:4712)の2003年3月期中間決算概況

(1) 業績ハイライト

[単位:百万円]

	前上半期	当上半期		下半期 (予想)		通期 (予想)		
	実績	実績	前年同期比	予想値	前年同期比	予想値	前年同期比	
売上高	アミューズメント施設収入	8,695	8,501	97.8%	8,489	99.0%	16,990	98.4%
	レンタル収入	2,131	1,474	69.2%	1,433	67.2%	2,907	68.2%
	完成工事高	633	420	66.4%	3,507	504.6%	3,927	295.7%
	その他売上	34	23	67.6%	-	- %	23	0.0%
	合計	11,493	10,418	90.6%	13,429	90.2%	23,847	90.4%
	売上総利益	2,509	3,093	123.2%	3,243	70.4%	6,336	89.0%
	営業利益	745	1,628	218.5%	1,639	59.2%	3,267	93.0%
	経常利益	608	1,659	272.8%	1,327	49.9%	2,986	91.4%
	当期純利益	252	845	335.3%	513	35.9%	1,358	80.9%
	EPS [円]	3.9	13.2	338.4%	8.0	35.8%	21.2	80.7%
	新規出店数 [店]	0	1		3		4	
	増床店数 [店]	0	3		1		4	
	閉店数 [店]	4	2		0		2	
	既存店リニューアル数 [店]	4	7		5		12	

アミューズメント施設運営事業を中心に合理化を進めた結果、営業利益率は6.5% 15.6%と大幅に上昇。

(2) 下期に向けた施策

直営店舗の運営強化

当社オリジナル運営システムの開発

- メダルメンバーズカード
- ゴールドメダルシステム
- GFOネットワークシステム
- カップ式高額両替メダル貸機「MDC-01」

アドアーズブランド新規出店・増床・リニューアル計画

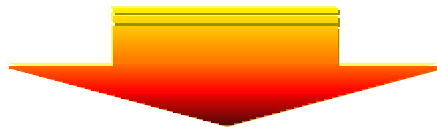
- 採算性の徹底追求による既存店舗の増床・リニューアル、新規出店



基幹事業の収益力向上

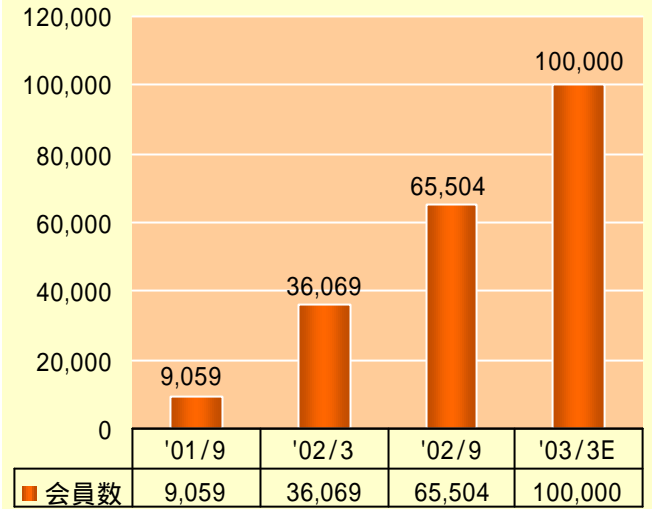
有利子負債の圧縮

今期末までに有利子負債を150億円まで圧縮する計画。
来期末には有利子負債を100億円まで圧縮する計画。

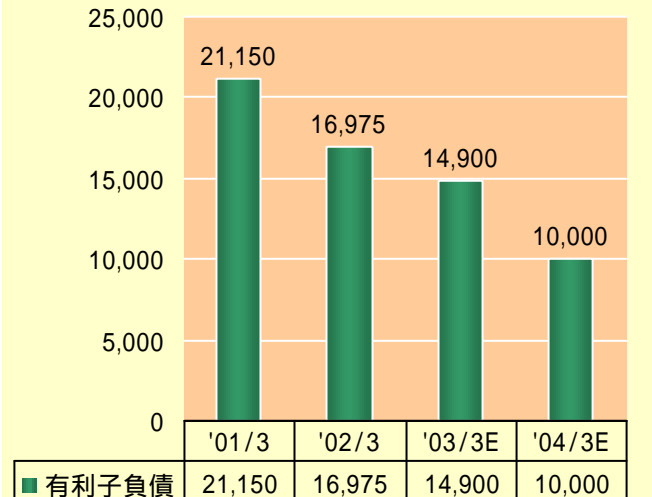


借入金への依存体質を改善

[会員数の推移] [名]



[有利子負債の推移] [百万円]



【 】 株式会社セタ(JQ:4670)の2003年3月期中間決算概況

(1) 業績ハイライト

[単位:百万円]

		前上半期	当上半期		下半期(予想)		通期(予想)	
		実績	実績	前年同期比	予想値	前年同期比	予想値	前年同期比
売上高	遊技機関連	10	380	3,830.8%	667	2,906.2%	1,047	3,183.4%
	テレビゲーム関連	252	258	102.4%	51	11.2%	309	43.9%
	その他	23	31	130.9%	50	174.0%	81	154.7%
	合計	285	669	234.7%	768	152.4%	1,437	182.0%
売上総利益		68	377	553.0%	400	- %	777	- %
営業利益		256	120	- %	64	- %	184	- %
経常利益		252	121	- %	63	- %	184	- %
当期純利益		719	8	- %	20	- %	28	- %
EPS [円]		78.93	0.92	- %	2.23	- %	3.15	- %
ハウスカードシステム 導入店舗数 [店]		-	16	- %	23	- %	39	- %

(2) 下期に向けた施策

製品	特徴	03/3 - 3Q	03/3 - 4Q	04/3 - 1Q
PCサンド	低イニシャルコスト・ランニングコスト 中・小規模店舗がターゲット	販売		
PCサンド	PCサンド + カード回収機能 営業中カードの回収不要	開発・テスト	販売	
PCサンド	PCサンド + 紙幣4金種入金機能 + ポイント顧客管理システム 中・大規模店舗がターゲット	開発・テスト		販売

店舗ニーズに応じ、3タイプの併用販売を展開

ポイント顧客管理システムの概要

携帯電話を活用し、顧客(会員)登録を自動化

携帯電話が会員カードとなる為、会員カード不要となる。会員カードも利用可能。
店舗における顧客管理を自動・システム化し、店舗業務の省力化・従業員数の削減。

顧客(会員)サービスの拡充・支援

イベント・キャンペーン告知等を携帯電話へE-Mailとして、ワンタッチで瞬時に情報配信(情報提供サービス)。
PCサンドと携帯電話の接続機能により貯玉・貯メダルサービスを提供。

異業種店舗間・他店舗間のポイント交換

顧客(会員)のポイント交換の選択肢を拡大。
交換の選択肢としてゲーミングを提供、原価ゼロのでポイント償還が可能。

【参考】

会社概要 (2002年9月末現在)

会 社 名	アルゼ株式会社 (英訳名 :ARUZE CORP.)
本 社 所 在 地	〒135-0063 東京都江東区有明3-1-25
創 業 年 月	1969年12月
設 立 年 月	1973年6月
上 場 年 月	1998年9月 (JASDAQ:6425)
資 本 金	34億4,685万円
発行済株式総数	80,195,000株
代 表 者	代表取締役社長 岡田 和生
従 業 員 数	840名
事 業 所	本社 (江東区有明)、営業所・出張所 (全国25ヶ所)、工場 (千葉県四街道市)
主な事業内容	パチスロ機・パチンコ機・パチコン機・各種アミューズメント機器の企画・開発・製造・販売
主要取引銀行	三井住友銀行・UFJ銀行
主要子会社	アドアーズ(株) (JQ:4712)、(株)セタ (JQ:4670)、(株)エレコ、(株)メーシー販売、(株)ミズホ、(株)サクノス、日本アミューズメント放送(株)、(株)システムスタッフ、ARUZE USA, Inc.

アルゼグループの将来像

